

# ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち

総合計画懇話会では、第5次日野町総合計画の町長への中間提言となる基本構想案の協議が大詰めを迎えています。

4月26日の第11回懇話会は、町長をはじめ各課長も交えての開催となりました。

今回は、先に決定された日野町が目指すべき将来像や基本方針等（広報ひの4月号に掲載）に対して懇話会委員や町職員から出された意見をもとに、活発な議論がなされました。

また、これらの議論を受け、作業部会を設けて中間提言に向けた詰め協議をされました。

第11回懇話会と作業部会で議論された主な内容をお知らせします。



## 日野町の将来像

ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ

自治の力で輝くまち

将来像に込めた想いについて、再度整理されました。

## ひびきあい

もったいなきいきと輝くイメージを込めた表現にしようことで、「人と人、人と自然が響き合い、いきいきと輝きながら活発に、地域のコミュニティや文化、産業をつくっていく」という想いが込められています」とされました。

## 「日野のたから」を未来につなぐ

人が一番のたからであることや、「たから」

は経済的資源だけでなく感情や思い・誇りなどの精神的なものも含みます。このことから、もっと厚みを持った表現として、「人をはじめ自然、歴史など地域の誇りとめくみを再発見し、日野のたからとして育て、未来につないでいく」という想いが込められています」とされました。

## 「資源」と「たから」

◆日野町には多くの「資源」や「たから」があると示されているが、これらの違いを明確にして表現する必要があるのではないかと。

「資源」は、「日野菜、町並み」など、経済的なもの（経済的なものになりうるもの）の

意味合いが強いものの場合に用い、「たから」は、「ひと、誇り、歴史、文化」など、経済的資源だけでなく精神的なものも含めた場合に用いることとされました。

## 「育ち」とは…

「子育て・子育ち・親育ち」みんなで支えるまちづくり

◆これからの子育て支援は、「自ら育つ力をもつ」という意味で「育ち」という視点も必要ではないか。

親が子どもを育てる「子育て」に対して、「子育ち」は、人や地域とのつながりの中で、知らず知らずのうちに自ら育っていくことを意味しています。また、「親育ち」は、子育てをする中で、親自身が地域の人たちや子どもから学び育っていくことを意味しています。

「一方的に育てられる」のではなく、自らの力によって育っていくことにも光をあて、



# 第5次日野町総合計画

## 中間提言に向け、基本構想の検討も大詰めに!!

「子育て」だけでなく、「子育て」「親育ち」が必要であるとされました。

### 青少年の健全育成の位置づけは？

◆青少年の健全育成の位置づけが曖昧ではないか。

学校生活とは別に、「青少年自らが健全に育っていく過程で、親や地域とのつながりの中で、お互いに高め・成長しあってほしい」という想いを込めて、「親・子・地域のつながりを深め育ちあう」の中に位置づけられました。

### 地域に根ざした学校づくり

学校づくりでは、単に学校教育だけでなく、地域とのつながりの中で、それぞれの特色を出していくことが、「地域に根ざした特色ある学校づくりを進める」とされました。

### 学びあいみんなではぐくむ自治のまち

◆人と人、人や地域とのつながりが重要ではないか。

これまでの地域でのまちづくりの活動は、旧

来の自治会が中心となって支えてきました。最近では、組織・機能の維持が困難となりつつある自治会や集落もあります。

また、人と人とのつながりが薄れてきており、自治会等に加入されていない方には、どのようにまちづくりに参加してもらうかということも大きな課題となっています。

このことから、「これからのまちづくりでは、自分たちの暮らしや健康の課題に、身近な暮らしの場で協力・共同して取り組み、お互いの関係や活動を進めていくこと」と、「今日までのつながりも含めて、新しいつながりをはぐくんでいくための「ミニコミュニティの再生」が必要であるとされました。



### 「生涯学習」と「社会教育」の違いとは…

◆現在検討している施策には、「学びを大切にする生涯学習を進める」と「ひととまちを育てる社会教育を進める」があるが、一般的に「生涯学習」と「社会教育」の違いが分かりにくいのではないかと。

「生涯学習」と「社会教育」について、分かりやすく注記することとされました。

○生涯学習…国民一人ひとりが充実した人生を送ることをめざして生涯にわたって行う学習のこと。

○社会教育…国民一人ひとりが暮らしのなかで感じている生活の課題や地域の課題について、学習をする(体育やレクリエーションを含む)ことをはじめとして、身近な暮らしの場で協力共同して取り組み、住民相互の関係や活動を発展させること。

\*生涯学習は「個」を基準に考えられることが多いのに対して、社会教育は「集団」を基準に考えることが多い。

総合計画懇話会では、6月上旬には第5次日野町総合計画策定に関する中間提言をまとめ、中旬に町長へ提出される予定となっています。

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当(役場3階) ☎6552 有線⑤8963